

第7回リスクアセスメントの評価

H23.8.26

現場名	危険性の特定 (各現場)	リスクの見積り (各現場)				リスク評価の改善点 (品質)	標準リスクの見積り (品質)				リスク低減措置案(各現場) 低減措置案のプラス事項(品質)	主な 事故
		頻度	可能性	重篤度	リスク		頻度	可能性	重篤度	リスク		
A	南側スロープを下って作業員が、後ろ向きで重い竹カゴを台車で搬出していた時、支えきれなかった台車に勢いがつき台車とフェンスの間に挟まれ腹部を打撲する危険がある。	4	6 - 4	6 - 3	IV - III	・可能性は、(6)・(4)となっておりますが十分な注意を払っていれば危険が察知出来る為、(4)と考えられます。	4	4	6 - 3	III - IV	・無理をせず数回に分けて運ぶことを徹底する。 ・一人で作業を行わず補助員を付ける。 低減措置案のプラス事項 ・可能であれば、正面等の比較的段差がないルートを使用できるか考えてみるのも良いでしょう。	挟まれ
B	ビルの外周で、作業員が排水溝清掃をする時車の出入が多いので接触し死亡事故に繋がる危険性がある。	1	6	10	IV	・可能性は、(6)となっておりますが十分な注意を払っていれば危険が察知出来る為、(4)と考えられます。 ・重篤度は、(10)となっておりますが、ビルに出入りする車両は速度を落としている為、死亡等に繋がらず、完治可能なケガ(6)も考えられます。	1	4	10 - 6	III - IV	・作業中の看板を立てる。 ・複数で作業する。(見張り役も含む) ・作業時間を考える。	接触
C	日差しやビル風を防ぐものがない屋上で作業員がドレーン清掃をする時、帽子をかぶらなかつたり、中腰での作業を長時間続けると熱射病や強い風にあおられてバランスを崩し臀部強打による打撲や尾てい骨折の危険がある。	1	2	6	III						①作業改善 ・一人当たり作業量軽減及び作業員増員 ・気象変動に応じた作業日数確保 ・作業直前の気象情報チェック ・原則、作業は曇天日に行う ②作業日安全行動のルール化 ・作業前健康チェック、軽い準備体操実施地 ・作業用携帯電話の充電チェック ・着帽、作業姿勢の厳守 ・作業時の単独行動の禁止 ・飲料水、ドクターキッズ(救急小箱)携帯 低減措置案のプラス事項 ・中腰の体勢を防ぐため膝について作業出来るよう ・膝あて等を使用するのも1つの方法でしょう。 (膝が痛くならなくてユニホームが汚れない物) ・比較的涼しい時間や時期に作業が出来るように調整する事も一つの考えでしょう。	打撲
D	カーペットの階段で作業員が、階段用ポリッシャーで洗浄する時、踏み面が狭い為、ノンスリップに多く洗剤がかかり足を滑らせる危険がある。	4	6	6	IV	・頻度は、(4)となっておりますが階段洗浄作業は毎日では無いと思われる為(2)と考えられます。 ・可能性は、(6)となっておりますが十分注意を払っていれば危険が察知出来る為、(4)と考えられます。 ・怪我については、記載がないが重篤度は(6)は妥当と考えられます。	2	4	6	IV	・カーペットに洗剤をまく際、ダイヤスプレーのノズルの状態により塗布量が異なるのであまり飛散させないようにする。 低減措置案のプラス事項 ・階段幅が狭いかもわかりませんが作業は、半身になり踏み面に重心が来るようにしっかり踏む事を心がけると良いでしょう。 ・作業前にノズルの調整確認をすると良いでしょう。	滑り

E	1階附室で作業員が、掃き・拭き作業をしている時非常階段から出てきた職員とぶつかり転倒し壁面に頭をぶつけ出血等の危険性がある。	4	2	3	III				<ul style="list-style-type: none"> ・人の通行が常にある場所なので常に注意をする。 ・ルールの遵守。 低減措置案のプラス事項 <ul style="list-style-type: none"> ・非常階段に作業看板等を置き作業中であることを知らせるのも良いでしょう。 ・日頃から非常階段からは、人が出てくるものと考え緊張感をもち作業をするのも良いでしょう。 	接触		
F	9階通路で作業員が、アップライト掃除機で作業中に後方に注意が足りなかった為、お客様がコードに引っかかり転倒して手首を捻挫する危険性がある。	4	2	1 ・ 3	II ・ III				<ul style="list-style-type: none"> ・コードレス掃除機を使用する。 ・作業掲示板を立てる。 ・ボールなどを立て仕切る。 ・常に後方に注意を払う。 ・二人体制で使用する。 低減措置案のプラス事項 <ul style="list-style-type: none"> ・コードを差込から引っ張っての作業ではなく、伸ばした状態から差込に向かって作業するのも良いでしょう。 	転倒		
G	B1多目的室で作業員が、グランドピアノを出す時、一人で出した為、キャストが思う方向に動かず等に当り打撲する危険性がある。	4	4	6	IV	<ul style="list-style-type: none"> ・可能性は、(4)となっていますが危険性に注目していれば危険が察知出来る為、(2)と考えられます。 	4	2	6	IV	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3人で出入れする。 ・声を掛け合う。 ・周りを見ながらキャストの動きに注意する。 低減措置案のプラス事項 <ul style="list-style-type: none"> ・作業時は、ピアノに養生をするのも良いでしょう。 ・作業前にミーティングをし作業の流れや役割分担を決めるのも良いことでしょう。 	接触
H	1号館2階～8階にて作業員が、部屋沿いの廊下を自動床洗浄機にて作業している時、前方に注意が足りなかった為、急に飛び出してきた患者さんと接触し打撲を負わず危険がある。	4	2	3	III				<ul style="list-style-type: none"> ・自動床洗浄機で作業する際は、速度を出さず常に前方に注意し、特に廊下の部屋沿いは徐行する。 ・患者さんの行動は予測できないので細心の注意を払う。 低減措置案のプラス事項 <ul style="list-style-type: none"> ・作業範囲をお客様に周知徹底すると良いでしょう。 ・2人以上の作業を心がけ自洗機を操縦しない作業員が注意を促すと良いでしょう。 	接触		
I	事務室で作業員が、机の下を清掃する時、机の下を確認していなかった為電話やパソコンのコードを巻きこんでしまいコードを切ってしまう危険がある。	1	3	3	II	<ul style="list-style-type: none"> ・頻度は、(1)となっておりますが机の下の清掃は毎日あると思われる為(4)と考えられます。 ・可能性は、(3)となっておりますが危険性に注目していれば危険が把握出来る為(2)と考えられます。 ・労働災害ではない為重篤度は発生しません。今度からは、労働災害に付いてでお願いします。 	2	3			<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の了解を取り机の下の色々なコードを結束バンドにてまとめる。 ・机の下の確認を必ずする。 	
J	1階ショールームにて作業員が、商品ラックにひいてあるタベストリーの下を掃除機のT字を外して掛けた為、タベストリーの端をホースが吸込みずれた為、ラックの上にあったガラスの容器が落下し作業員に当り指に怪我をする危険性がある。	2	2	3	II				<ul style="list-style-type: none"> ・掃除機のT字をはずさないで掛ける(タベストリーは、手に持つ) ・破損性のある物の近くは、十分気を付けて掃除機を掛ける様再度指導する。 	切れ		